

すこやかな毎日、
ゆたかな人生

Glico

Glicoのデジタル戦略

パーパス実現に向けて

江崎グリコ株式会社

2022.07

1. Glicoのパーパス、事業戦略の柱とデジタル戦略
2. デジタル推進体制
3. デジタル人財教育
4. デジタル化を支える5つのIT基盤
5. デジタル化成果指標

1. Glicoのパーパス、事業戦略の柱とデジタル戦略



存在意義（パーパス）

すこやかな毎日、ゆたかな人生

ありたい会社の姿（ビジョン）

Glicoグループは人々の良質なくらしのため、高品質な素材を
創意工夫することにより、「おいしさと健康」を価値として提供し続けます

中期事業戦略の3つの柱

おいしさと健康価値の提供

科学的エビデンスに基づく
「おいしさと健康」

お客様起点のVCの実現

グローバル(日)・中国・ASEANで
進化したVCを構築

注力領域への転換

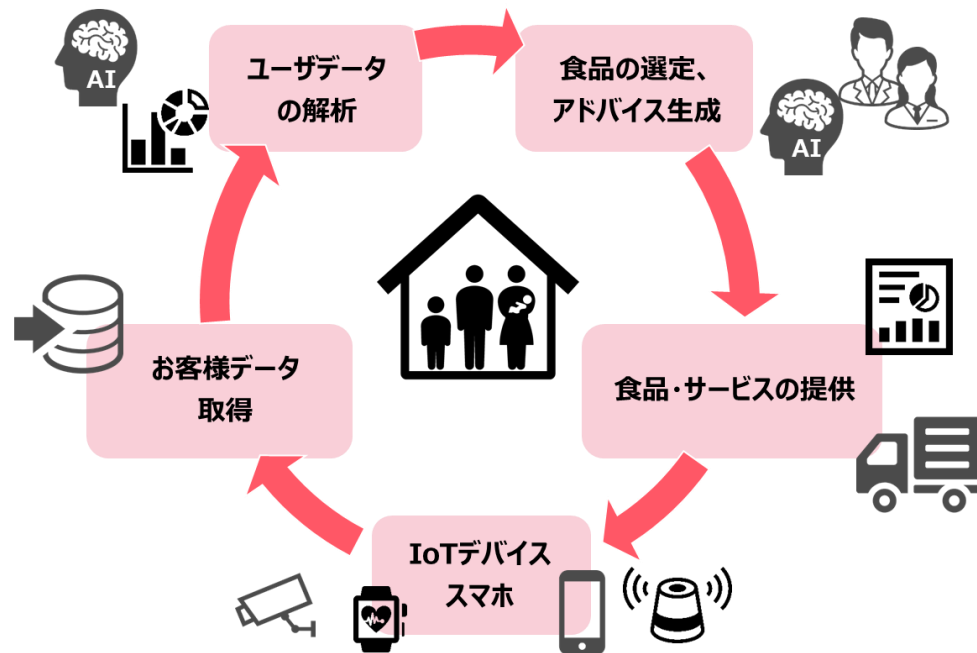
「カテゴリー・マーケティング」
から「注力領域・事業」として
のマネジメントへ移行

事業戦略を
ドライブする
デジタル戦略

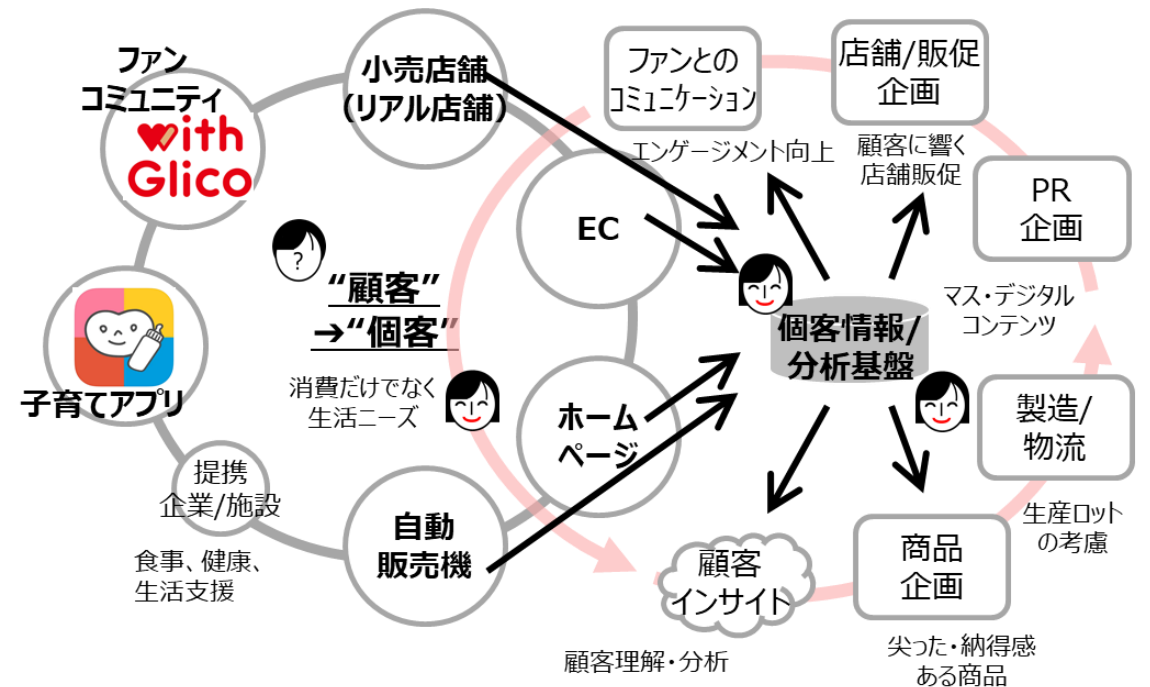
- ① お客様や生活者との接点強化による情報取得とデータに基づいた価値創造
- ② 継続的に価値を提供するバリューチェーン運営と一貫したデータに基づいた意思決定
- ③ 場所に関係なくセキュアで効率的なコラボレーションを実現し、従業員の価値を最大化

① お客様や生活者からの情報共有とデータに基づいた価値創造

お客様と継続的な繋がりを保ち、お客様からデータを取得し、顧客理解を高め、商品開発・提供に活かすことでブランド価値を向上



お客様と自社ファンコミュニティやリアル店舗などと連携し、“個客理解”を高め、あらゆるチャネルを通じて“個客”に価値を提供



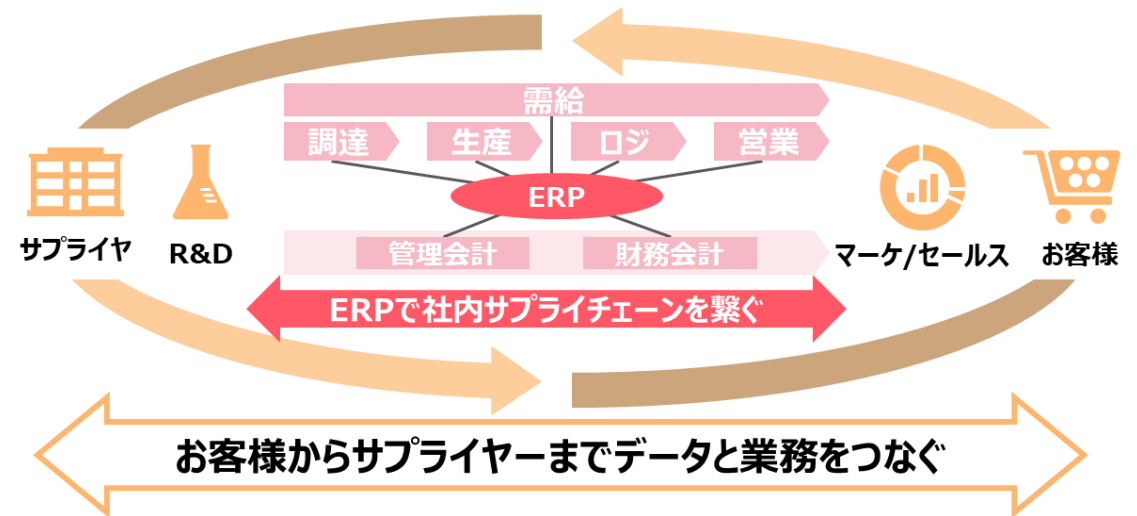
② 継続的に価値を提供するバリューチェーン運営と一貫したデータに基づいた意思決定



経営・事業・業務全層での一貫したデータに基づいた判断/意思決定スピード化



ERPによる基幹業務オペレーションを標準化と可視化
サプライヤーなど取引先とのデータ連携でお客様起点のバリューチェーンを実現



生産のデジタル化



統合されたデジタル・コネク

- 生産の高度化**
データの利活用を進め生産性・品質・安全・CSRを飛躍的に向上【AI/IoT】
- リーンで効率的組織運営**
デジタル技術を活用してアジリティの高い組織を実現【IoT/cloud/AI】
- アジャイルな生産方式の確立**
需要に即対応できる生産技術【IoT/AI/cloud】

③ 場所に関係なくセキュアで効率的なコラボレーションを実現し、従業員の価値を最大化



いつでもどこでも簡単にヒトや知見を効率的に繋げ、コラボレーションを加速し、イノベーションを促進



コラボレーション基盤

どこからでも、PC・スマホなどマルチデバイス環境で、セキュアなコミュニケーションを実現

業務効率化・フレキシブルワーク環境

あらゆる業務から紙の書類を排除し、電子化することで、業務効率化を図ると共に、いつでもどこでも働ける環境を整備

経費精算

請求書処理

電子契約

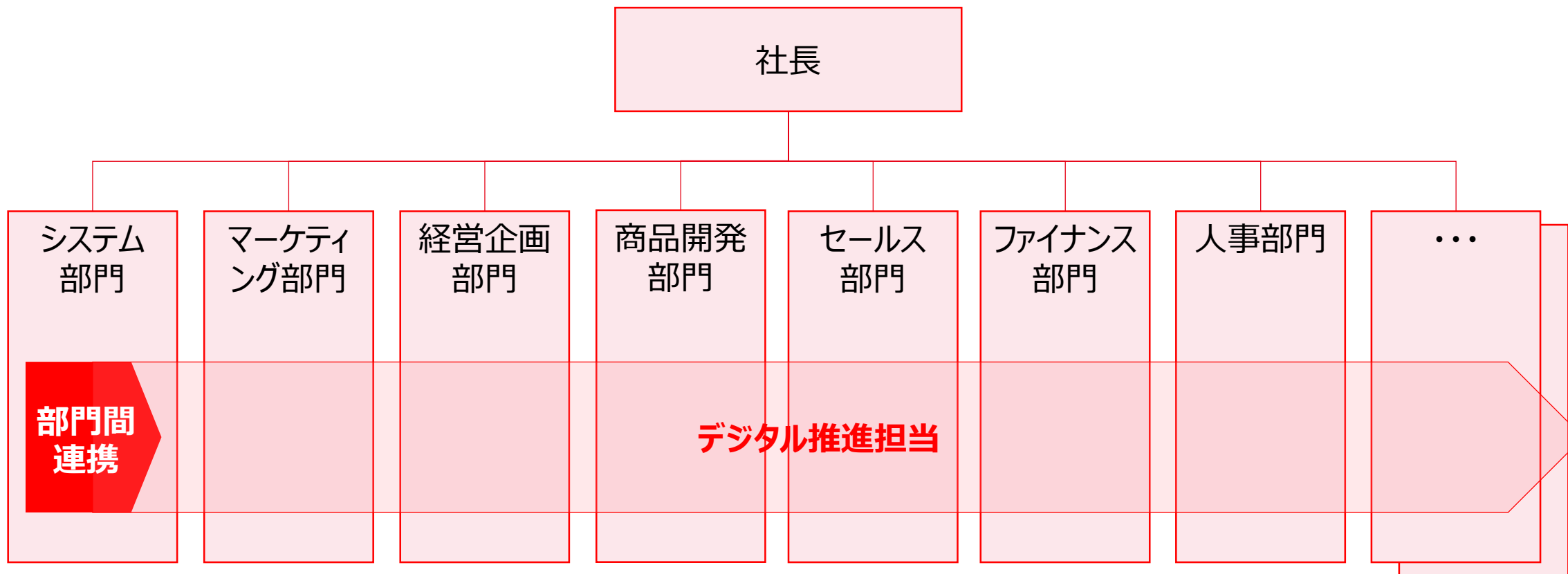
労務管理

...

ゼロトラスト型セキュリティ基盤

2. デジタル推進体制

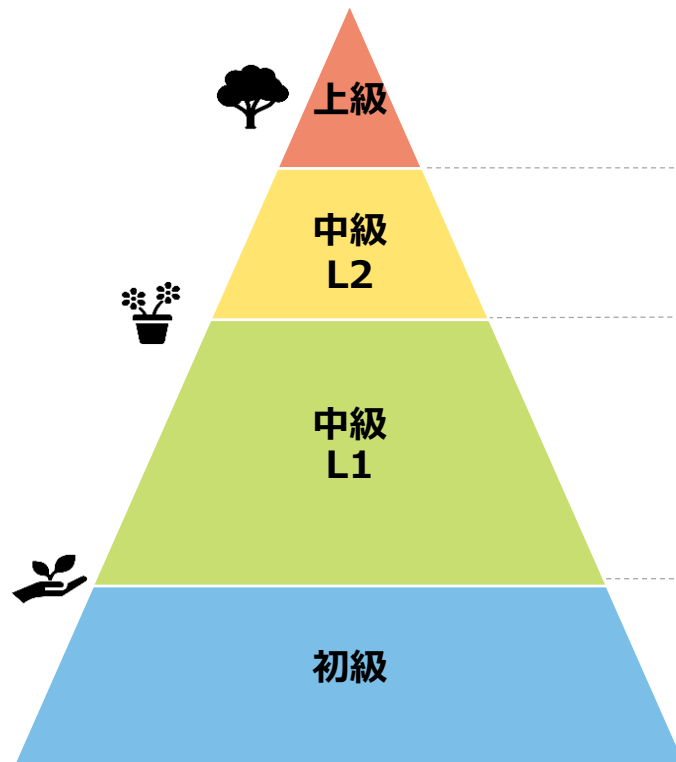
デジタル化は全組織での取り組みと位置づけ、各業務機能の現場からマネジメントに至るまで、課題設定およびデジタル技術の適用検討を実行し、システム部門が中心となって部門間連携を推進



3. デジタル人財育成

システム部門以外も含む社員全員がデータリテラシー（知識・スキル）を習得し、社内でデジタル課題を設定・解決できるようになる。

【定性目標】到達レベル



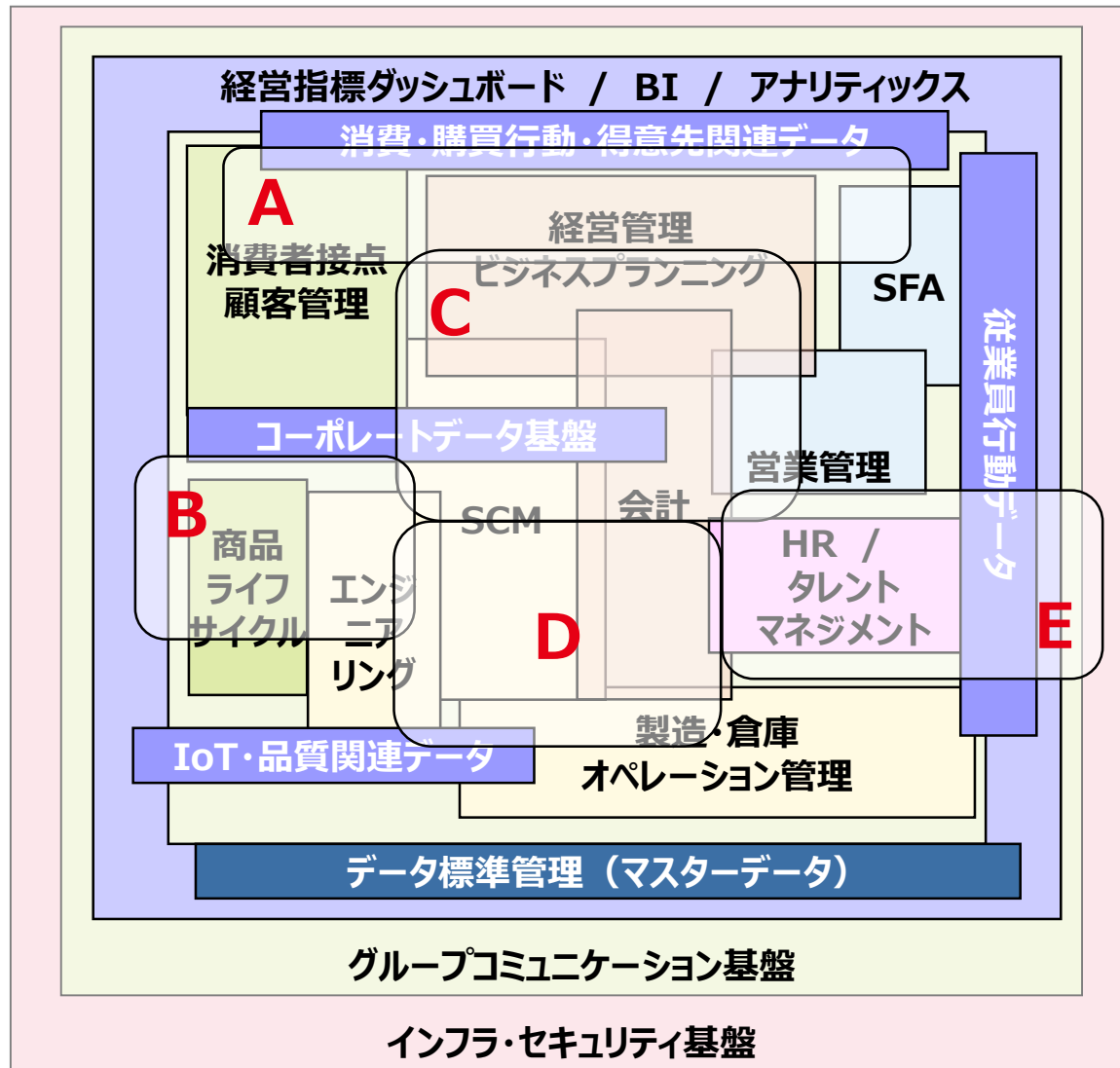
- ・データサイエンティストとして社内メンターも務める
- ・アプリケーションを自力で作成できる

- ・Python等を用い、自力でデータ分析、課題の設定、解決ができる

- ・データ分析で解決可能な領域を理解し、情報セキュリティの観点も取り入れながら、課題設定ができる（知識を自分の言葉・ビジネスに置き換えて活用できる）
- ・Excelの高度な応用操作（重回帰分析など）ができる

- ・基本的なデジタルリテラシーを習得し、知識として知っている
- ・基本的なデータ活用（データ収集・編集等）ができる

4. クラウドを活用したデジタル化を支える5つの基盤



クラウド (SaaS/IaaS) を活用した基盤

※2022年7月時点で95%以上のアプリケーションがSaaSまたはIaaS基盤で稼働

A: 生活者との接点とD2Cシステム基盤
 お客様との接点となるファンサイト、ECサイト、キャンペーンサイト
 購買行動データベース、分析基盤

B: データに基づく商品企画、設計、研究システム基盤
 外部研究機関との情報連携
 商品開発データ基盤、プロセス管理

C: バリューチェーンプロセス管理と経営管理基盤
 ERP活用による業務標準化と効率化、データ可視化
 経営ダッシュボード、データ分析基盤

D: サステナブルな生産・調達・物流システム基盤
 原料購買から生産、受注出荷管理
 工場オペレーションの自動化、IoT基盤、データ分析基盤

E: セキュアで効率的なコラボレーション基盤
 多様な働き方を可能にする環境
 クラウドスマート、ゼロトラスト型セキュリティ基盤

5. デジタル化成果指標

事業戦略を
ドライブする
デジタル戦略

① お客様や生活者との
接点強化による情報取得と
データに基づいた価値創造

主な成果指標

- データ取得お客様数
- リピート購入お客様数
- 商品開発リードタイム

主なプロセス指標

- お客様提供データに基づく
商品開発事例

② 継続的に価値を提供する
バリューチェーン運営と
一貫したデータに基づいた意思決定

- 意思決定スピード
- プロセスのデジタル化率、
可視化率
- 生産リードタイム

- ERP展開完了と業務の
標準化率（23年1月）
- 経営ダッシュボードの活用
- 製造データ基盤の展開

③ いつでもどこでも効率的に
コラボレーションし、
従業員が持つ価値を最大化

- 従業員サーベイ
- 入社前提の業務

- リモートワーク環境整備(完了)
 - ・コミュニケーション基盤
 - ・経費精算・請求処理の電子化
- エンドポイントセキュリティ整備
- デジタル人財育成目標達成